

# 令和8年度 総会 & 新入会員歓迎会報告

4月13日(月)開催の学友会総会において、第1号議案～第6号議案の全議案が賛成多数で承認されました。皆さまのご協力に厚くお礼申し上げます(総会議案書はホームページをご覧ください)。

## 学友会行事予定

- 4月13日 総会と新入会員歓迎会
- 5月11日 講演会『日本を取巻く環境』
- 6月8日 映画会
- 7月7日 40周年記念パーティ
- 8月中旬 第18回親睦囲碁大会
- 9月14日 講演会『縄文時代の再発見』
- 10月4日 40周年記念演奏会
- 10月 親睦テニス大会
- 10月28日 第11回親睦ゴルフ大会
- 11月初旬 第24回学友会美術展
- 12月14日 講演会『興福寺(仮)』
- 1月14日 新年会
- 2月中旬 第5回親睦女性麻雀大会
- 3月8日 講演会『古武道から学ぶ身体の使い方(仮)』

## 新役員(会長、副会長、監査、各グループリーダー) 新任

- 会 長：越智高敏(35期)
- 副会長：梶本和男(34期)、杉山はるみ(36期)
- 監 査：鳥川美雄(32期)、岩崎英世(27期)
- 会 計：山本誠(38期)

## 各GL

- 総務：首藤道代(38期)、広報：兵東勇(33期)、組織：青嶋 義晴(40期)
- 企画：加瀬宏一(39期)、社会貢献：風井宏(39期)



副会長 杉山はるみ 副会長 梶本和男 会長 越智高敏 会計 山本誠 監査 鳥川美雄

---



## 学友会新入会員歓迎会：弦楽四重奏

学友会総会に引き続き、弦楽四重奏の演奏会で新しい仲間42期生の皆さんの入会を歓迎しました。参加者は127名でした。

### ◆ 出演

#### 第一ヴァイオリン 中嶋弥生（なかじま やよい）

芦屋市出身。兵庫県立西宮高校音楽科、大阪教育大学、京都市立芸術大学大学院を経て、政府奨学生としてハンガリー国立リスト音楽院を最優秀で修了。在学中にハンガリー市立zugloi管弦楽団に入団、2019年に帰国。バルトーク国際コンクールで特別賞。ハンガリー国立歌劇場管弦楽団と共演。自身のリサイタルを、ハンガリー、神戸、芦屋、大阪各地にて開催。中嶋弥生ヴァイオリン教室を主宰、国内のコンクールなどで審査員を務める。

#### 第二ヴァイオリン 河村真央（かわむら まお）

兵庫県立西宮高校音楽科を経て、京都市立芸術大学を卒業。第66回全日本学生音楽コンクール高校の部大阪大会入選。第16回日本演奏家コンクール奨励賞を受賞。ザルツブルクモーツァルテウム大学夏期講習アカデミーにてディプロマ取得。その他、国内外の講習会に多数参加。西宮音楽協会会員。現在フリー奏者としてオーケストラへの客演、ソロ、室内楽などの演奏活動を積極的に行いながら、後進の指導にも務める。

#### ヴィオラ 平井菜月美（ひらい なつみ）

5歳よりヴァイオリンを始め、大学在籍中にヴィオラに転科。兵庫県立西宮高等学校音楽科、大阪教育大学教養学科芸術専攻音楽コースを卒業。平成30年度卒業記念演奏会に出演。2010年より「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」に5年間在籍。現在、そのOB・OGで結成された「スーパーストリングスコーベ」に所属。その他、関西を中心にオーケストラや室内楽での演奏や、後進の指導にあたるなど、幅広く活動している。

#### チェロ 藤原克匡（ふじわら かつまさ）

大阪音楽大学卒業。『LuftMusica』、『iii Eccellente』、『神戸モダンモーツァルトカルテット』、各グループで活動中。チェロ三重奏『Katafu Cello Trio』のCDを2016年リリース。現在、Luft Musica代表、大阪音楽大学音楽院講師、六甲ヒルズ室内オーケストラ、有馬富士ヒルズ室内オーケストラ音楽監督、宝塚ヒルズ室内オーケストラ、尼崎弦楽アンサンブルチェロトレーナー。

### ◆ 曲目

#### ♪ ヴィヴァルディ ヴァイオリン協奏曲“四季” 第1番 “春”

バロック音楽を代表する最も有名な作品の一つ。“春”は小鳥のさえずり、泉のせせらぎ、そして春の嵐といった自然の情景が鮮やかに描かれている。第1楽章は春の訪れを祝う明るい合奏と、小鳥を模したソロヴァイオリンが印象的。

#### ♪ ハイドン 弦楽四重奏曲第67番 “ひばり”

第1楽章第1主題の旋律がひばりの鳴き声を連想させるために『ひばり』の

愛称で親しまれている。明るく澄んだ響きと洗練された形式美が特徴。ハイドンの数ある弦楽四重奏曲の中でも、特に知名度と人気が高い曲。

♪ビゼー カルメン ファンタジア

19世紀のスペイン・セビリヤを舞台に、自由奔放に生きるジプシーの女カルメンと彼女に翻弄される伍長ドン・ホセの愛憎劇を描いたオペラ。情熱的、ドラマチックな展開で現在も世界で最も上演回数が多い人気演目の一つ。曲目は間奏曲、セギディーリャ、衛兵の交代、闘牛士の歌、ジプシーの歌。

♪唱歌メドレー ふるさとの四季(源田俊一郎)

故郷、春の小川、朧月夜、鯉のぼり、茶摘み、夏は来ぬ、われは海の子、村祭、紅葉、冬景色、雪。

♪ヨハン・シュトラウス ラデツキー行進曲

オーストリア帝国の将軍ラデツキーの勝利を祝して書かれた世界で最も有名な行進曲の一つ。軽快で勇壮なリズムが心地よく、ウィーン・フィルによるニューイヤー・コンサートの最後を飾る定番曲として愛されている。

第1曲のヴァイオリン協奏曲《四季》は、春の息吹を感じさせる軽やかな旋律で音楽会の幕開けにふさわしい清新さをもたらしました。続く弦楽四重奏曲第67番《ひばり》は、優美で伸びやかな響きが会場を明るく包み込みました。華やかな《カルメン・ファンタジア》では技巧が際立ち情熱的な表現に圧倒され、音楽の世界へ引き込まれました。

後半の《ふるさとの四季》は、日本の懐かしい情景を呼び起こし、温かい調べが心に染み渡りました。締めくくり、アンコールの《ラデツキー行進曲》は軽快な手拍子で会場の一体感を高め、明るく華やかな終演となりました。高揚感に満ちた、贅沢なひとときでした。

担当：総務G、企画G、41期



第1Vn 中嶋弥生 第2Vn 河村真央 Vla 平井菜月美 Vc 藤原克匡



全体進行 中嶋弥生さん



中嶋弥生さん  
ヴァイオリン協奏曲“四季”の解説



藤原克匡さん  
弦楽四重奏曲第67番“ひばり”の解説



《ラデツキー行進曲》軽快な手拍子



ホールロビーで記念撮影